

新規・継続等	新規	分野	荒廃山地の復旧等の治山		事業番号	4	事業名	山地治山(予防治山)				
市町村名	天龍村		ふりがな箇所名	こまお小沢			事業年度(完了年度は見込み)	H23 年度 ~		H24 年度		
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	山腹工0.17 a 土留工1個、落石防護柵工1個、コンクリート吹付工220㎡、緑化工1,400㎡ ほか					H22年度末事業進捗率		0 %			
	H23年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース		0 %			
	H23年度実施内容	山腹工0.10ha(土留工1個、コンクリート吹付工220㎡、緑化工100㎡)					用地補償費ベース		- %			
	年度	全体事業費		H21年度まで		H22年度		H23年度		H23年度以降残		
	事業費計(千円)	43,600		0		0		24,000		43,600		
財源内訳	国庫支出金	20,000		0		0		11,000		20,000		
	その他											
	県債	21,240		0		0		11,700		21,240		
	一般財源	2,360		0		0		1,300		2,360		
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価			部	政策評価課			
								ランク	評点	ランク	評点	
	必要性 (20)	保全対象人家	10戸以上			1~9戸		0戸		B	0	
		保全対象公共施設	2箇所以上			1箇所		なし			5	
		保全対象に弱者施設があるか	重要施設			一般施設		なし			0	
		保全対象(保安林・林業用施設)	「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上			保安林率30%以上50未満又は流域対策上保全すべき森林あり		保安林率30%未満			7	
		小計									12	
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去5年に1回以上			災害履歴地		なし		A	5	
		交通遮断による地域経済などへの影響	大			中		小			5	
		防災計画上の位置づけ	あり			なし					5	
		小計									15	
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C2.0以上			B/C1.0以上2.0未満		B/C1.0未満		A	10	
		早期発現度	3年未満			3年以上5年未満		5年以上			7	
		流域の総合調整	あり			なし					0	
		小計									17	
	緊急性 (25)	最寄の保全対象までの距離	50m未満			50m以上200m未満		200m以上		A	7	
		地形、地質の状況	火山噴出物、花崗岩、第3紀層、破砕帯かつ地すべり地形			火山噴出物、花崗岩、第3紀層、破砕帯		その他			2	
		平均床床勾配(平均山腹勾配)	10°以上(30°以上)			5°~10°未満(20~30°未満)		5°未満(20°未満)			3	
		下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)	なし			あり(概ね満砂)		あり(ポケットあり)			3	
		危険地区危険度	Aランク			Bランク		Cランク			7	
	小計								22		22	
	計画熟度 (20)	地域からの要望	地域住民活動強い			市町村要望有り		特に要望ない		B	7	
		事業情報の共有	関係者以外にも周知			関係者中心に周知		特に周知していない			3	
		住民参加の状況	住民が直接参加			住民市町村意見を反映		住民意見反映していない			3	
		小計									13	
費用対効果(B/C)		2.09		評価の合計			A	79	A	79		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	計画地は、JR飯田線・村道に面した急峻な斜面で、落石や山腹崩壊が発生している。H21.7豪雨では、村道脇が崩壊し下部JR飯田線が一時運行停止となった。緊急を要することから県単治山による復旧を一部実施した。崩壊箇所周辺部も岩盤斜面の風化が進んでおり、今後の新たな落石や拡大崩壊の危険性が高く、対策の必要性が高い。過去に落石等の発生経緯があることから、地元要望が強い。また、JRからも早期対応が望まれている。										
	地域からの要望経緯	H21年7月、地元要望を受けて村から要望される。H22年10月、地元要望を受けて村から要望される。										
	事業説明等の経緯	H22年11月、事業計画説明を、村を通じて地元区長、地権者等へ実施している。										
	環境・景観への配慮項目	特になし。										
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。										
	特記事項	特になし。										
地域の合意形成		全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他		
部意見	平成21年災害による崩落は、JR飯田線が一時運行停止になる大きな影響があった。周辺部においても今後の降雨により拡大崩壊、落石の危険が高く、緊急に対策を図る必要がある。					政策評価課意見		重要性が高く、緊急性も認められる。				